



市役所に車いすを寄贈

社会貢献活動の一環として県遊技業協同組合西北五支部（林成鎬支部長）が3月29日、市役所に車いすを寄贈しました。

同組合は地場産業育成にも力を入れており、今回寄贈した車いすは境谷自動車（柏）が開発した車いす。今年度は3自治体へ1台ずつ寄贈を予定しているそうです。

福島市長は「市役所を訪れた方々へ利用させていただきます」と感謝の言葉を述べ、早速1階玄関ロビーに置いて活用することにしました。

同組合は2008年12月にも自動体外式除細動器（AED）を寄贈しています。

大西さん優勝、白戸君準優勝

4月11日、第25回青森県少年学年別柔道選手権大会が弘前市の県武道館で行われました。車力柔道少年団（蝦名昭義団長）所属の大西百香さん（車力小6年・写真左）が見事優勝・県知事賞受賞、白戸天龍君（富范小4年・写真右）が準優勝という成績を修めました。坂本豪世監督は「伝統ある車力柔道の復活の兆しが見えて来たかなと思います。さらに稽古に精進し、次は団体戦でも優勝できるよう選手と一緒に頑張っていきます」と話していました。



新1年生に黄色安全帽子を贈呈

4月7日、市交通安全母の会連合会が瑞穂小学校の入学式において新1年生37人に黄色安全帽子を贈呈しました。母の会では交通安全事業の一環として、毎年市内の新入学児童へ贈呈しており、この日瑞穂小学校を訪れた連合会の櫻庭恵美子さんは「地域、学校、母の会が協力して子どもたちの命を守りましょう」と話していました。

良質な苗に育って メロン・スイカ育苗ハウスを巡回

メロン・スイカの健苗育成と良質苗の生産技術向上を図ることを目的に4月8日、メロン・スイカ育苗ハウスの巡回指導が行われました。

巡回に先立ち、西北地域県民局地域農林水産部農業普及振興室分室の對馬和明主幹が「3月の低温の影響はあるかと思いますが、今後定植に向けて気温、天候に注意しながら計画的に育苗するよう指導してください」とアドバイスをしました。その後、市、県、農協、生産組合の担当者19人が7班に分かれて17集落196戸の農家を巡回し指導に当たりました。



貴重な森林を火災から守る 山火事防止パレード

山火事防止運動強化期間に伴い4月14日、県、市、消防署員、森林組合の職員らが車両で市内をパレードしました。

パレードは、市役所前を出発し、木造、森田、車力地区の屏風山森林地帯を巡回しながら「空気が乾燥しているので、農作業や山菜採りなどでの火の取り扱いには、十分注意してください」と市民に呼び掛けました。

山火事は、一瞬にして森林を消失します。貴重な森林財産をみんなで大切にしましょう。



教育の充実・発展に役立てて

県立木造高校稲垣分校閉校に伴い同校PTA（川田光浩会長）が解散となり、このほど会の残金20万円を市に寄付しました。市役所を訪れた川田会長は「つがる市における教育の充実・発展に役立ててください」と福島市長に手渡しました。

福島市長は「皆さんの善意に応えられるよう有効に使わせていただきます」と話していました。

ごみのないきれいな環境を

4月17日、西津軽土地改良区が主催するクリーンキャンペーンが行われ22団体約350人が清掃活動に参加しました。開会式では盛貞理事長が「毎年継続することで効果が現れてきている。きれいな環境で良い農作物を作るためにも力を合わせてがんばりましょう」とあいさつしました。参加者は、中の川、古田川、出精川の排水路沿いを6班に分かれて清掃し、木くず、ナイロン、金属、ガラスの4種類に分別しながら、ごみを回収していました。



力を合わせてまちをきれいに

4月24日、車力警察官駐在所連協協議会主催の「第7回クリーン作戦in車力」が行われ、同協議会のほか、交通安全協会車力支部、市防犯指導隊車力支隊、交通指導隊車力隊、車力中学校生徒ら約80人が参加しました。この日は3班に分かれて、むらおこし拠点館「フラット」周辺の幹線道路や車力漁港までのメロンロード付近の清掃活動を実施しました。参加者は「年々ごみの量は減ってきている」と話していました。